

# 論文の和文概要

氏名 山田 直子

## (博士論文の題目)

日本の子どもにおける多次元資本と健康に関する研究  
：むし歯，肥満・痩身，精神的健康に着目して

## (博士論文の概要)

本研究は，日本の子どもにおける多次元資本と健康との関連を明らかにすることを目的とした．この目的のため，1) 既存の社会調査資料の二次分析により家庭の多次元状況と健康との関連，2) フィールド調査により日本の中学生の多次元資本と精神的健康との関連を検討した．

初めに，都道府県別のデータが公表されている2つの社会調査資料から，多次元状況の指標として貯蓄と生活保護（経済），スポーツおよび旅行・行楽（文化），ボランティアおよび離婚（社会関係），労働時間[男]および労働時間[女]

（時間），6～17歳男女のむし歯被患率，肥満傾向児出現率，痩身傾向児出現率を選出した．これらのデータを用いて重回帰分析を行った結果，むし歯被患率および肥満傾向児出現率で多次元状況の指標との関連が示された．この結果から，子どものむし歯や肥満といった健康の改善のためには，家庭の経済，文化，社会関係，時間の状況に注目したアプローチの重要性が示唆された（表1）．次に，東京都と神奈川県の中学生を対象に質問票調査を実施した．質問票は，多次元資本（経済，文化，社会，時間），生活習慣（睡眠問題，運動習慣，各食品群の摂取頻度），精神的健康（The General Health Questionnaire 12: GHQ12）の質問で構成されものを使用し，共分散構造分析により多次元資本，生活習慣，精神的健康の関連を検討した（図1）．その結果，多次元資本（とりわけ，社会関係的資本，時間的資本）が精神的健康と関連することが示唆された（図2）．

これらの検討の結果，日本の子どもの多次元資本と健康との関連が示唆されたことから，多次元資本へのアプローチは健康問題の解決に有用であると考えられた．

表1 多次元的状況と健康状況との関連（重回帰分析の結果）

	男子					女子				
	偏回帰係数	標準化回帰係数	有意確率	95%信頼区間 下限 上限		偏回帰係数	標準化回帰係数	有意確率	95%信頼区間 下限 上限	
むし歯被患率 <sup>b</sup> (%)										
年齢 <sup>e</sup> (歳)	-0.509	-0.177	0.000	-0.716	-0.302	0.309	0.116	0.001	0.119	0.499
貯蓄 <sup>e</sup> (千円)	-0.001	-0.260	0.001	-0.001	0.000	-0.001	-0.281	0.000	-0.001	0.000
生活保護 <sup>e</sup> (世帯)	-0.019	-0.023	0.746	-0.131	0.094	-0.022	-0.029	0.681	-0.125	0.082
スポーツ <sup>e</sup> (%)	0.031	0.012	0.879	-0.369	0.431	0.010	0.004	0.957	-0.357	0.377
旅行・行楽 <sup>e</sup> (%)	-0.328	-0.160	0.036	-0.635	-0.021	-0.252	-0.132	0.079	-0.535	0.030
ボランティア <sup>e</sup> (%)	0.241	0.085	0.197	-0.125	0.607	0.203	0.078	0.235	-0.132	0.539
離婚 <sup>e</sup> (件)	9.469	0.164	0.018	1.627	17.310	10.563	0.197	0.004	3.353	17.774
仕事時間[男] <sup>e</sup> (分)	-0.037	-0.046	0.346	-0.116	0.041	-0.015	-0.020	0.682	-0.087	0.057
仕事時間[女] <sup>e</sup> (分)	0.026	0.042	0.541	-0.057	0.108	0.028	0.049	0.469	-0.048	0.104
調整済み R <sup>2</sup>	0.249					0.262				
肥満傾向児出現率 <sup>c</sup> (%)										
年齢 <sup>e</sup> (歳)	0.452	0.521	0.000	0.398	0.507	0.266	0.412	0.000	0.225	0.307
貯蓄 <sup>e</sup> (千円)	0.000	-0.325	0.000	0.000	0.000	0.000	-0.434	0.000	0.000	0.000
生活保護 <sup>e</sup> (世帯)	-0.088	-0.358	0.000	-0.117	-0.058	-0.059	-0.324	0.000	-0.081	-0.037
スポーツ <sup>e</sup> (%)	-0.179	-0.235	0.001	-0.284	-0.073	-0.118	-0.209	0.004	-0.197	-0.039
旅行・行楽 <sup>e</sup> (%)	0.094	-0.152	0.023	0.013	0.175	-0.051	-0.110	0.101	-0.112	0.010
ボランティア <sup>e</sup> (%)	-0.237	-0.278	0.000	-0.333	-0.140	-0.187	-0.295	0.000	-0.259	-0.114
離婚 <sup>e</sup> (件)	2.601	0.150	0.014	0.532	4.669	-0.017	-0.001	0.983	-1.573	1.539
仕事時間[男] <sup>e</sup> (分)	-0.022	-0.091	0.033	-0.043	-0.002	-0.006	-0.032	0.452	-0.021	0.010
仕事時間[女] <sup>e</sup> (分)	0.027	0.148	0.015	0.005	0.049	-0.010	-0.074	0.223	-0.026	0.006
調整済み R <sup>2</sup>	0.432					0.412				
痩身傾向児出現率 <sup>d</sup> (%)										
年齢 <sup>e</sup> (歳)	0.149	0.463	0.000	0.125	0.172	0.147	0.373	0.000	0.117	0.176
貯蓄 <sup>e</sup> (千円)	0.000	0.016	0.839	0.000	0.000	0.000	0.082	0.316	0.000	0.000
生活保護 <sup>e</sup> (世帯)	0.009	0.105	0.149	-0.003	0.022	0.011	0.099	0.184	-0.005	0.027
スポーツ <sup>e</sup> (%)	0.038	0.136	0.105	-0.008	0.084	0.024	0.072	0.402	-0.033	0.082
旅行・行楽 <sup>e</sup> (%)	0.003	0.014	0.861	-0.032	0.038	0.028	0.100	0.211	-0.016	0.072
ボランティア <sup>e</sup> (%)	-0.020	-0.062	0.358	-0.062	0.022	-0.018	-0.048	0.487	-0.071	0.034
離婚 <sup>e</sup> (件)	-0.825	-0.128	0.073	-1.726	0.077	-0.070	-0.009	0.903	-1.200	1.059
仕事時間[男] <sup>e</sup> (分)	0.007	0.076	0.131	-0.002	0.016	0.001	0.011	0.824	-0.010	0.012
仕事時間[女] <sup>e</sup> (分)	-0.002	-0.031	0.657	-0.011	0.007	0.006	0.073	0.318	-0.006	0.018
調整済み R <sup>2</sup>	0.235					0.165				

- a. むし歯被患率は、『平成27年度学校保健統計調査報告書』に掲載されている都道府県別の未処置歯のある者と処置完了者の割合を示す。
- b. 肥満傾向児出現率は、『平成27年度学校保健統計調査報告書』に掲載されている都道府県別の肥満度20%以上（肥満度＝（実測体重－身長別標準体重）／身長別標準体重×100）で肥満傾向と判定された者の割合を示す。
- c. 痩身傾向児出現率は、『平成27年度学校保健統計調査報告書』に掲載されている都道府県別の肥満度20%以下で痩身傾向と判定された者の割合を示す。
- d. 貯蓄は貯蓄現在高、生活保護は生活保護被保護実世帯数、スポーツはスポーツの年間行動者率、旅行・行楽は旅行・行楽の年間行動者率、ボランティアはボランティア活動年間行動者率、離婚は離婚率、仕事時間[男]は仕事の時間[有業者・男]、仕事時間[女]は仕事の時間[有業者・女]を示す。

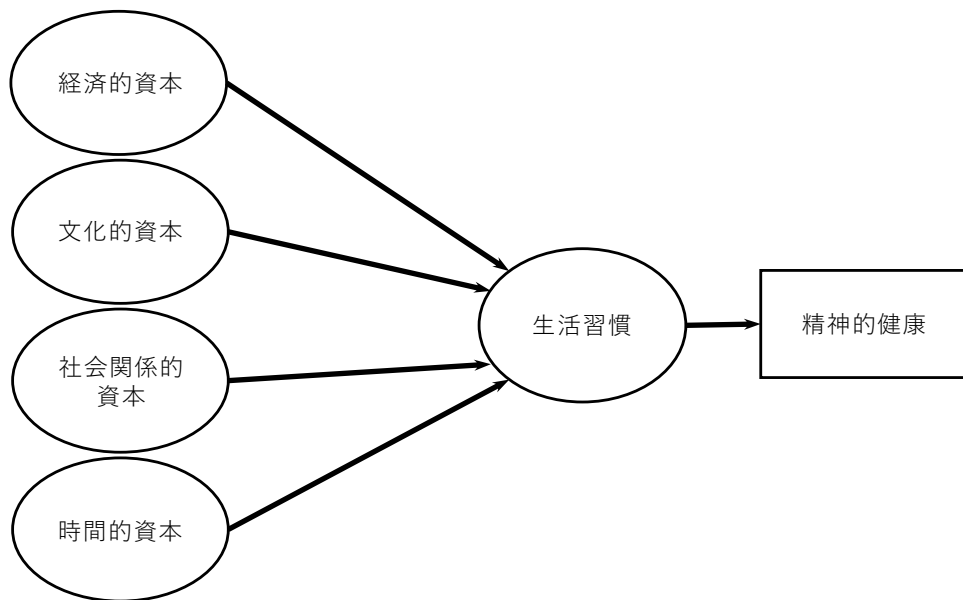


図1 仮説モデル

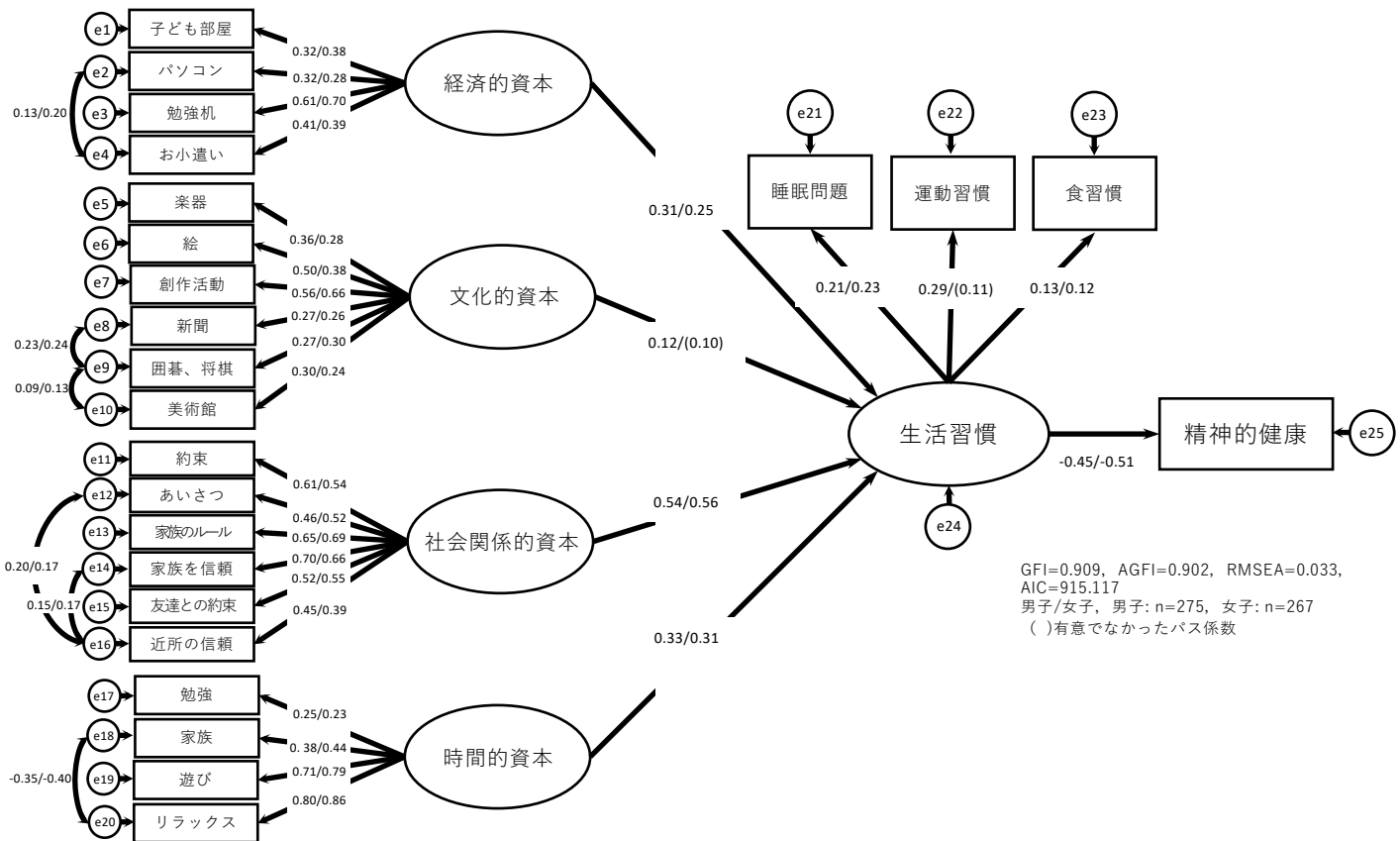


図2 多次元的資本, 生活習慣, 精神的健康の関連 (最終解)